



『 大腸がんは早期発見で治りやすい 』

生涯でがん罹患する確率は男性で 62%、女性で 47%とされています。その中で大腸がんは、2018 年国立がん研究センターのがん罹患数予測によれば、全部位の中で、男性 2 位、女性 2 位、合計で 1 位とされ、年間約 15 万人がかかるがんです。

大腸がんは、年々増加傾向にあります。増加している理由として、食生活の欧米化・高齢者の増加が大きな理由であります。ただ早期の大腸がんでは 90%以上が完治するがんです。このため自覚症状（血便、便通異常、腸閉塞等）が出る前に発見することが大切です。早期発見のために有用な検査が健診での便潜血検査です。この検査を受けた方のうち、1,000 名のうち 1 名～2 名に大腸がんが見つかります。便潜血検査による大腸がん検診を受けた方では、死亡率が 60%～80%低下し、進行がんが約 50%も減少するという報告もあります。

しかし 2016 年の統計によると、大腸がん検診の受診率は男女とも 50%に届いていません。

安心（検査自体に副作用や事故がない）、安価、簡単な（食事や薬剤に制限がない）便潜血検査をぜひ有効活用してください。

鹿児島厚生連病院
診療部 消化器内科部長
谷口 鎌一郎